グローバル指導者育成事業

2017年度　公益財団法人東京都バレーボール協会
バレーボールコーチ・ワークショップ　開催要項

１．目的・趣旨

本事業は、オリンピック等の国際大会や世界選手権又は日本選手権等の全国大会（以下、「国際大会等」という）へ出場が見込まれる東京都選手を育成する指導者を対象にグローバルな視点からコーチングを考え、オリンピックレガシーとして「日本に新たなスポーツ文化を創造する！」ことを目的として、また個々の指導者の能力開発を図ることを目的として実施する。

２．主　　催　　東京都
公益財団法人東京都体育協会
公益財団法人東京都バレーボール協会

３．主　　管　　公益財団法人東京都バレーボール協会

４．協　　力　　公益財団法人東京都バレーボール協会強化委員会
公益財団法人東京都バレーボール協会指導普及委員会

５．開催期日・開催場所・日程

（１）開催期日　平成３０年３月２４日（土）～２６日（月）

（２）開催場所　日本体育大学世田谷キャンパス
〒151-0081　世田谷区深沢 7-1-1
東急田園都市線　桜新町駅　下車徒歩 15 分（バス５分）

（３）講習会日程

1日目：3月24日（土）			
09:00～	**受付開始**		
09:30～09:45	**オープニング（開講式）**	根本	2108教室
09:45～10:30	**講　義** トップコーチとしての学び ゲームライク練習導入	Morrison 関口	2108教室
10:45～12:45	**オンコートセッション1** ゲームライク練習を経験する	Morrison 印東 川北	メインアリーナ
12:45～13:45	昼休憩		
13:45～16:30	**オンコートセッション2** ゲームライク練習の設計	Morrison 印東 川北	メインアリーナ
16:45～17:45	セッションの振り返り	根本 関口	2108教室
2日目：3月25日（日）			
09:00～12:00	**オンコートセッション3** ゲームライク練習の模擬実践	Morrison 関口	メインアリーナ

		印東 川北	
12:00～13:00	昼休憩		
13:00～14:30	**講　義** ゲームライク練習を主軸にした練習戦略	Morrison	2108教室
14:45～17:00	**講　義** 全体の振り返りと行動計画作成	根本 関口	メインアリーナ
17:00～19:00	**コーチミーティング**		Nレストラン
3日目：3月26日（月）			
09:00～12:00	大学チーム強化練習会視察 （コーチング実践の発展）	Morrison 印東 川北	メインアリーナ
12:00～13:00	昼休憩		
13:00～16:00	コーチミーティング	Morrison 印東 川北	Nレストラン
16:15～17:15	クロージング（閉講式）	根本	Nレストラン

※オンコートセッションでは体育館用シューズをご持参ください。
当日は駐車場の準備はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。
※講義内容は一部変更となる場合もございます。

６．参加対象
（１）公益財団法人東京都バレーボール協会に所属するトップ指導者
（２）日本代表選考会出場選手強化事業対象選手をはじめとした、国際大会等への大会出場が期待される選手の育成に携わる指導者

７．講師
トップコーチ　Jamie Morrison（オランダ代表監督）
兼通訳　川北　元（デンソーエアリービーズ監督）
兼通訳　印東　玄弥（トヨタ車体クインシーズコーチ）
デモンストレーター　野中　俊英（日本体育大学女子バレーボール部コーチ）
コーチデベロッパー　関口　遵（日本体育大学コーチ学研究室助教）
コーディネーター　根本　研（日本体育大学バレーボール研究室准教授、
同大学女子バレーボール部監督）

７．　参加料・支払方法
（参加料）　なし

８．　申込方法・期限
（期 日）　平成３０年３月１４日（水）17：00　必着
（様 式）　別紙申込用紙に入力の上、下記アドレスまで送付すること。
※メール送信時の件名は【バレーボールコーチ・ワークショップ申込：○○】とすること
（○○は氏名を入力）

（宛 先） 公益財団法人東京都バレーボール協会強化委員会
E-mail:mva@tokyo-mva.com

※受講者数は、４０名程度とする。（申込み多数の場合は抽選とする）

９．その他

（１） この研修会での事故、負傷等については、主催者側はその責任を持たない。各自スポーツ傷害保険等に加入の上参加すること。

（２） 本研修会に関する問い合わせ先

公益財団法人東京都バレーボール協会　強化委員会
TEL：０３－３９８４－３８０８（平日 10～18 時）
FAX：０３－３９８７－０２２７

講師紹介

◆　トップコーチ

・ Jamie Morrison（オランダ女子チーム監督/カリフォルニア州デイナ・ポイント出身）

19 歳の時からコーチングを始め、南カリフォルニア大学で男女バレーボールチームを指導。その後 2005～2008 年にヒュー・マッカッチョンのアシスタントコーチとして、アメリカの男子チームの一員として活動し、2012 年の FIVB バレーボール・ワールドリーグや北京オリンピックで金メダルを獲得に貢献した。2009 年より女子チームへ異動し、カーチ・キライ監督の下、アシスタントコーチとして活動し、2010～2012 年 3 年連続 FIVB ワールドグランプリ受賞、2011 年ワールドカップ銀メダル、2012 年ロンドンオリンピック銀メダル獲得に貢献した。

2017 年よりオランダ女子チームの監督に就任、2017 年女子ヨーロッパバレーボール選手権では準優勝を果たし、2018 年 FIVB 世界選手権の出場を目指す。

◆　アシスタントコーチ　兼　通訳

・ 印東　玄弥（トヨタ車体クインシーズコーチ）Wikipedia より抜粋

恵庭南高校から日本体育大学に進学し、バレーボール指導者を目指した。1980 年代に世界を席巻した中国代表の強さを研究するため、交換留学制度により 1993 年に北京体育大学に留学した。この頃試合のために訪中した全日本マネージャーの花田美奈子（当時はダイエーコーチ）が取り持つ縁で、大学卒業後の 1995 年 5 月にダイエーのコーチに就任し、名将アリー・セリンジャーの元で学んだ。ダイエーから日立佐和のコーチを務めた後、アメリカ合衆国プロチーム立ち上げにコーチとして参画した。後に同チームの監督は紆余曲折を経て、アリー・セリンジャーに決定している。2000 年にパイオニアレッドウィングスはセリンジャーの監督招聘を決定したが、セリンジャーは受諾条件として印東のコーチ就任を要請した。2006 年にノルウェーバレーボール協会の招きに応じて、Topp Volley Norge（バレーボールアカデミー）のコーチに就任し[4]、アンダーエイジチームを女子 2 年間、男子 6 年間指導した。印東はノルウェーの永住権を取得していたが、堺ブレイザーズの田中幹保の働きかけに応じ、2014 年 6 月に堺の監督に就任した。2016 年 6 月、女子プレミアリーグのトヨタ車体クインシーズは、印東を総合コーチに招聘した。

・ 川北　元（デンソーエアリービーズ監督）Wikipedia より抜粋

都立千歳丘高等学校を卒業後、順天堂大学に進学しバレーボール部に在籍。コーチング科学を学び、1999 年に順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科で修士号を取得。その後は、同大学のバレーボール部コーチをしながら、幼稚園・中学・高校の講師を掛け持ちしていた。2001 年に渡米し、ユタ州プロボにあるブリガムヤング大学のカール・マクガウン（Carl McGown）監督のもとで 1 ヶ月学んだ後、ペンシルベニア州にある州立大学（ロックヘブン大学）のトム・ジャスティス（Tom Justice）監督に誘われて同大学のアシスタントコーチに就いた。並行して、1 年のうち半年はアメリカ女子代表チーム（監督は郎平）にて、指導する生活

を送った。アメリカ女子代表は2008年には北京オリンピックで銀メダルを獲得。川北は、ゲーム分析や技術指導を担当した。同年の北京オリンピック前のワールドグランプリの際、眞鍋政義（当時の久光の監督）に誘われ、久光製薬スプリングスでコーチ兼通訳を務めること（帰国）となった（アメリカ代表選手のローガン・トムが久光へ移籍するタイミングもあった）。翌2009年からは全日本女子チームの監督に就任した眞鍋のもと、全日本女子の戦術・戦略コーチを務めることとなった。英語も習得し、その後もトルコ、ロシア、セルビアなどで、強化システムや戦術・戦略を学ぶ機会も持った。同年のロンドンオリンピック後の、木村沙織（日本代表）のワクフバンク・テュルクテレコム（トルコ）移籍に合わせ、川北も同チームのコーチに就任し、サポートした。そして、2017年6月より、女子Vプレミアリーグのデンソーエアリービーズの監督として活躍している。

◆デモンストレーター

・　野中俊英（日本体育大学スポーツ局コーチ専門職）

日本体育大学出身。平成19年関東大学1部リーグ秋季リーグ、平成19年全日本大学バレーボール選手権大会優勝リベロとして活躍。卒業後1年間講師を経て、久光製薬スプリングスのコーチとして6年間在籍。主な成績は、2011—13、2013—14 V プレミアリーグ優勝。2009、12、13、14 年天皇杯・皇后杯優勝。2014年アジアクラブ選手権大会優勝。2014年世界クラブ選手権出場。2013年黒鷲旗全日本バレーボール選手権大会優勝。現在、日本体育大学スポーツ局コーチ専門職として男女バレーボール部コーチをしている。

◆　コーチデベロッパー

・　関口　遵（日本体育大学コーチ学研究室助教）

日本体育大学体育学部を 2006 年に卒業後、東京大学大学院総合文化研究科に進み、2008 年に修士号を取得。その後、オーストラリアへの語学・スポーツ留学経て、日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程にて、コーチの学習に関する研究を始め、2013年に単位取得満期退学。博士後期課程在学時より日本体育大学大学院博士前期課程実践学コースコーチング学系の大学院生コーチの指導やプログラムデザインに関わり、2014年から三年間はスポーツ庁委託事業「スポーツアカデミー形成支援事業」において、世界で唯一の国際的コーチ育成者養成機関「NSSU Coach Developer Academy」の設立およびプログラムデザインに携わった経験を持つ。2017年からは日本体育大学体育学部体育学科の助教として、大学内のコーチ養成に携わっている。

また、大学院博士後期課程在籍時より、同体育学部教授の伊藤雅充氏とともに、アスリートの学びに対する主体的な取り組みを支援するアスリート・センタード・コーチングの普及を推し進めている。さらに、個人としては、スポーツコーチの全体的な成長に焦点を当て、学びの機会の提供や成長課題の提示などを行っている。

◆コーディネーター

・　根本研（日本体育大学バレーボール研究室准教授、同学女子バレーボール部監督）

日本体育大学出身。日本体育大学大学院博士後期課程満期退学。小学校・中学校時代に全国大会出場。高校時代には、主将を務めチームをまとめた。大学時代には、２度の全日本インカレ優勝を経験。その後、指導者となり同大学助手として男子バレーボール部コーチ、全日本男子ジュニアチームコーチとしてアジアジュニア銅メダルを経て大学院へと進学、男子ユニバーシアードチームアナリストとして世界ユニバ銀メダルを獲得した。現在は、同大学女子バレーボール部監督としてリーグ戦優勝、東日本インカレ優勝、全日本インカレ優勝という経歴を持つ。その他、日本バレーボール協会指導普及委員、関東大学バレーボール連盟理事、東京都バレーボール協会理事として強化委員長を務める。